令和8年度　第3回IPMアドバイザー講習会　カリキュラム（於：法政大学　小金井キャンパス　東館）

第1日目	科目	狙いと内容	講義形態と時間	担当講師	教室名
10:00–10:10	オリエンテーション	受講にあたっての注意事項等の説明		普及支援協会	
10:10–11:00	IPM概論	IPMの基本的な考え方や歴史を紹介し、普及指導における心構えなどを学習する。 ・IPMとは ・施策の動き ・研究の動き ・これからのIPM	50分のスライドによる講義（質疑込み）	元農研機構 中日本農業研究センター 本多　健一郎　氏	1階 E106教室
11:00–11:10	休憩				
11:10–12:00	IPM技術概要	既存技術(慣行防除)との違い、各種防除法、各種防除資材などについて概要を紹介する。化学的防除では、IRAC、FRACについて、作用機作の異なる薬剤のローテーションの必要性について学習する。 ・関連法規 ・各種防除技術 ・殺虫剤・殺菌剤の作用機構	50分のスライドによる講義（質疑込み）	(合)クロップマネジメントラボ 山中　聡　氏	1階 E106教室
12:00–13:00	休憩				
13:00–14:00	IPM技術① （病害防除）	IPMにおける病害防除技術について、土壌伝染性病害対策等を例に学習する。 ・土壌病害虫の防除技術 ・ピーマンモザイク病の防除技術 ・地上部病害の防除技術	60分のスライドによる講義（質疑込み）	法政大学 生命科学部 津田　新哉　氏	1階 E106教室
14:00–14:10	休憩				
14:10–15:40	IPM技術② （害虫の生物的防除）	生物的防除技術について、各種天敵や微生物の特徴および利活用法について詳細(使用する資材と使い方、防除体系の組み立てなど)を学習する。 ・施設園芸における重要害虫 ・天敵の種類 ・カブリダニ資材 ・天敵昆虫資材 ・微生物資材	90分のスライドによる講義（質疑込み）	京都大学大学院 農学研究科 日本　典秀　氏	1階 E106教室
15:40–15:50	休憩				
15:50–17:30	IPM技術③ （各種防除手段の位置付けと生物的防除）	IPMの中での各種防除手段の位置付けと問題点および、地域に生息する土着天敵の保護強化による生物的防除の位置付けと展開方法（生態系サービスのIPM体系への取り込み）とその意義について学習する。 ・保全的生物防除 ・露地野菜でのIPM ・土着天敵 ・天敵温存植物	100分のスライドによる講義（質疑込み）	元宮崎大学 農学部 大野　和朗　氏	1階 E106教室
第2日目	科目	狙いと内容	講義形態と時間	担当講師	教室名
10:00–10:05	日程説明等	日程および試験の説明		普及支援協会	
10:05–11:45	IPM技術④ （防除体系）	施設野菜を中心にIPM防除体系の構築方法と現場指導方法について学習する。 ・IPM体系の構築・普及にいたる動機 ・利用できる化学農薬とイチゴでの事例 ・キュウリでの実証試験結果と普及に必要な訴求点の作り方 ・広域普及活動・実証調査の進め方 ・実証調査の7つ道具	100分のスライドによる講義（質疑込み）	(合)クロップマネジメントラボ 山中　聡　氏	1階 E106教室
11:45–12:45	休憩				
12:45–14:15	ワークショップ①	農家指導の演習行い、実践的な指導方法を学習する。 ・農家とアドバイザーとのロールプレイング形式のIPM指導演習	90分のグループによる演習	(合)クロップマネジメントラボ 山中　聡　氏	1階 E106教室
14:15–14:30	休憩				
14:30–15:20	ワークショップ②	天敵の観察を行い、実践的な指導方法を学習する。 ・実体顕微鏡およびルーペによる天敵製剤の観察	50分のグループによる実技	元宮崎大学 農学部 大野　和朗　氏	5階 学生実験室
15:20–15:35	休憩				
15:35–15:40	試験説明			普及支援協会	1階 E106教室
15:40–16:40	試験		60分のテスト		1階 E106教室